

公開質問状

～滝山病院に残された患者さんへの退院等の支援活動について～

令和5年8月29日

東京都知事 小池百合子 殿

東京精神保健福祉士協会会長 松永実千代 殿

医療法人社団孝山会滝山病院に入院中の患者さんに対して現在行われている退院支援活動に関して、ご質問させていただきます。

滝山病院に入院中の患者さんのうち、退院や転院をご希望される方々については外部からの退院等の支援が必要ですが、そのためには、これまで退院支援にあっていた弁護士や都内の各福祉団体等と個々の入院患者さんとの間の橋渡し役が必要です。そして、その役割をとっていただけるものとして、東京都と東京精神保健福祉士協会に対しては大きな期待がかかっておりました。

そのような状況を受けて行っていただいたものと理解しておりますが、東京都と東京精神福祉士協会が合同で今年5月上旬より個別調査を行っていただいたとのこと、そしてその結果、調査対象者の過半数から退院等のご希望があったとうかがっております。中には虐待を受けていたことを話される方や身体看護の状況に疑問を感じる方も複数いたとのことでした。

にもかかわらず、その後の支援活動が進んでおらず、調査開始から約3か月経過時点で退院・転院者0名、その後今月の下旬になってようやく3名ないし5名が転院したとのことですが、その後の見通しは全く立っていないのみならず、この間に145名中22名が死亡したとのことでした。率直に言って、5名を支援する間に22名が死亡という結果に衝撃を受けています。

これまで我々は様々な機会に、各患者さんからのご希望があればそれに沿って支援を行う旨申し出ておりましたが、そのような危機的な状況の中、本来地域福祉関係者への橋渡し役として期待されておりました東京都からも東京精神保健福祉士協会からも、3か月以上経った本日現在、未だ調査の結果を受けてご希望のある患者さんのうち我々につないでいただいた方が一人もおらず、今後の支援方針についても具体的なご説明もないまま時間ばかりが過ぎており、全く状況がつかめず大変危惧しております。報道を見る限りでは、今の滝山病院の状況において、一人の患者さんからも外部の福祉団体等への支援を求める声がないとはおよそ考えられない状況です。さらには、地域の福祉関係者には多数の東京精神保健福祉士協会の会員もおりますが、ほぼ誰にも支援依頼が無く、情報も全く来ない状況が続いており、多くの会員が困惑しているのではないかと思います。

そのような状況を受け、以下の点について、お尋ねいたします。

ご質問 東京都又は東京精神保健福祉士協会において、できるだけすみやかに各患者さんのご希望をご確認いただき、地域の福祉関係者や司法関係者からの支援をご希望される方々については、そのご希望に沿って我々との間を橋渡ししていただくことはできますでしょうか。

患者さんとの橋渡しをすみやかにしていただくことができる場合には、我々としては患者さんに対してできる限りの誠実なご支援をするよう最善を尽くすことをお約束いたします。

滝山病院において今もなお虐待等のおそれがないといえる確かな裏付けもなく、次々と死亡者が現実に出ている中では、時間との勝負という面もあります。個々の患者さんと我々をつないでいただける場合には、その具体的な時期の見通しもご教示ください。

また、もし万が一、つないでいただけない、あるいは、つなぐつもりはあるが具体的な時期は示せない、ということがありましたら、なぜ患者さんからの希望があっても我々につないでいただけないのか、必ずその理由をお知らせください。

状況からして時間をかけるのは好ましくありませんので、ご回答は、本日より1週間以内に下記まで書面にてお願いいたします。

記

〒190-0011 東京都立川市高松町3丁目29-15

特定非営利活動法人トモニ代表 細江昌憲

質問人・団体等	特定非営利活動法人トモニ
	特定非営利活動法人日本障害者協議会
	公益社団法人やどかりの里
	長谷川利夫
	小幡恭弘
	伊澤雄一
	相原啓介（高幡門前法律事務所）
	東京精神医療人権センター
	東京都地域精神医医療業務研究会
	特定非営利活動法人こらーるたいとう
	宮本克（日野市民法律事務所）
	木村真実（日野・子どもと家族法律事務所）